

◎5年生 | 「花と実」

花は何のために咲く

○ミョウガにも花が咲く

花は何のために咲くのかという問いに、「きれいに見せるため」とか「人の目を楽しませるため」とか、はっきりとしない答えを返してくる子が多いです。

それで教科書の受粉実験をすると、「アサガオは受粉して実ができる」ことはわかります。しかし、花は何のために咲くのかはわかりません。花が子孫を残すために咲くことは、たくさんの事例を扱ってわかるのです。



これは、ミョウガの花です。ミョウガの花自体見かけることは少ないのですが、夏に咲きます。



そして、10月の終わりから11月にかけて、実ができます。写真の白い粒の中に、黒い種が入っています。

ミョウガのように、「まさかこれに花が咲くまい」と思うような植物（もちろん種子植物に限ります）や「まさかこれに実ができまい」と思う植物を取り上げることが大切です。

そうして、「これにも花が咲くなら、花は大切な役割を果たしているな」と実感させていく学習を組んでいきましょう。

○インターネットを使って

たくさんの植物の花や実を用意するのは、なかなか難しいものです。そこで、インターネット上の資

料を活用することにします。以下の私のサイトに、季節ごとに見られる植物の写真が載っています。（左の写真もサイトにアップしています。）

<http://homepage2.nifty.com/kmiyauti/niwatop.htm>

「宮内主斗」で検索し、「庭の植物図鑑」をクリックしてもOK！

ここで使えそうな写真をダウンロードしておいて、子どもに提示しましょう。パソコンとプロジェクターを使うと、効果的です。

○イネを調べてみる

授業の実際としては、イネに絞って問い、それからたくさんの植物を見せていくと良いでしょう。「ご飯は、イネという植物から取れますが、イネに花は咲くでしょうか？」

この問いの後、時間をかけてノート作業をさせます。理由付けをさせていきましょう。

- ・見たことがないからない。
- ・米の粒は種なのではないか。種があるなら花が咲く。花が咲かないと種はできない。
- ・どうして花を見たことがないのか？
- ・花が目立たないから。
- ・目立たないのが花と言えるのか？

このような話し合いがなされると良いでしょう。イネの花を知っている子もいますが、どうしてそれが花と言えるのかを説明させると良いと思います。

前述のサイトでイネの花を確かめ、雄しべと雌しべがあれば花だと言って良いことを知らせます。なぜなら、その2つがあれば種子ができるからです。その後でいろいろな花と実を見せて、花は種作りのための器官であることがわかるようにしていきましょう。